

地域活性化を問う



もりおか きとこ
森岡聡子議員

議員 陶山地域の状況について見解をたずねる。

市長 今後篠坂スマートインターチェンジ開設と周辺開発が見込まれ、関係人口、交流人口、定住人口の増大につなげていきたい。周辺の開発が一体的に進むよう、農振地域や土地利用計画を見直し、未利用地の有効活用を推し進める。

議員 陶山地区内の道路整備についての考えをたずねる。

建設部長 主要な道路に接続する部分の渋滞について、県、警察等とも情報共有しながら対策する。

議員 陶山小学校の今後の方針についてたずねる。



教育部長 学校適正化計画では城見小学校と統合の計画になっている。施設一体型小中一貫校を整備していく中で全体の計画を前倒しの方角で検討し3月末に公表する。

安心して暮らせる地域社会を

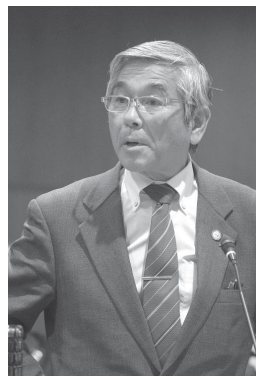
議員 視覚障害者の日常生活用具への給付制度を充実し、AⅠ視覚支援デバイスを対象にできるか。

市長 状況を注視し、検討する。読書環境の整備としてAⅠ視覚デバイス等視覚障がいの方の読書用装置配置の検討等、市民が等しく読書ができるよう環境整備をする。

議員 高齢者タクシー券の利用範囲拡大について、本市以外の事業者参入についてたずねる。

政策部長 実証実験事業であり利用状況や意見を踏まえて変更する。

市長自らやる気がない



ふじい よしあき
藤井義明議員

議員 以前議会が、市民の干拓の悪臭改善の要望書を市長に提出したが受け取ろうとせず、知らん顔をして受け取らなかった。非常に残念であった。その後の悪臭対策の状況をたずねる。①環境改善対策検討会でどこに悪臭の問題があるか分かったとのことである。どこかたずねる。②堆肥の持ち出し状況をたずねる。③現在の畜舎の状況が管理基準を満たしているのかたずねる。

市長 ①3つの発生源があることが分かってきた。1つ目は牛舎、2つ目は堆肥、3つめは牛の飼料であるサイレージから発生する臭気である。②年間約3千トン持ち出している。③管理基準を満たさない施設が見受けられたので、県と市で対応を依頼している。



議員 発生源が分かってきたというが、それは以前から分かっていたことである。堆肥の持ち出しが3千トンではどうにもならない。良質の堆肥を作ることが当初から何回も言っているが、市長みずからやる気がないから進まない。今後の計画についてたずねる。

産業部長 調査研究し、もっと多くの方に使っていただけのような堆肥を作っていきたい。

議員 管理基準を満たしていない施設に依頼をただけでは話にならない。その結果をたずねる。

産業部長 管理基準を満たしていない建物は数件あった。依頼後は1件ほど直っていないので、再度依頼していきたいと考えている。